

授業科目名 <英訳>	社会学(演習) Sociology (Seminars)			担当者氏名	文学研究科 准教授 太郎丸 博				
配当学年	全回生	単位数	4	開講期	通年	曜時限	金2	授業形態	演習
題目	社会調査・データ解析実習								
【授業の概要・目的】									
前期は、社会調査を実践的に企画・設計し、実施し、分析・集計をおこなうための実践的な知識と能力を習得することを目的とする。後期は、数理統計学の基礎を踏まえながら、多変量解析に共通する計量モデルを用いた分析法を基本的に理解することを目指す。コンピュータを使ったデータの分析とその結果の解釈に重点を置く。									
【授業計画と内容】									
前期									
1. 調査方法論、調査倫理									
2. 調査企画と設計									
3. 仮説構成									
4. 尺度構成法									
5. サンプルがないし対象者・フィールドの選定									
6～7. 調査票の作成									
8～9. 実査									
10～11. 調査データの整理（コーディング、データクリーニングなど）									
12～13. グラフ作成、仮説の検証									
14～15. 報告書の作成									
後期									
1. 回帰分析の復習									
2. 非線形モデル（対数変換、二乗項の投入）									
3. 交互作用効果の検討									
4. モデルの選択（AIC, BIC, F検定）									
5. モデルの診断（残差プロット、VIF）									
6～7. 二項ロジスティック回帰分析									
8～9. 最尤推定法と尤度比検定									
10～11. 多項ロジスティック回帰分析									
12～13. 順序ロジスティック回帰分析									
14～15. 分析結果のまとめ方とグラフの利用									
【履修要件】									
専門社会調査士H, I科目の単位をすでに修得しているか、今年度修得見込みであること。また、日本語に堪能で、英語も読めること。									
【成績評価の方法・基準】									
出席(25%)、宿題(25%)、レポート(50%)									
【教科書】									
授業中に指示する									
----- 社会学(演習)(2)へ続く -----									

社会学(演習)(2)

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

(その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等))

日本の社会学の平均的な演習と比べると、読書や宿題、レポートなどの課題が多いと考えられるので、自宅学習のために十分な時間をとるように。

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。